



学校だより

～学校評価特集号～

令和5年度 第4号
令和6年3月8日発行
香川県立聴覚支援学校

今回の学校だよりは、今年度の学校評価アンケートの集計結果について報告します。
アンケートへのご協力ありがとうございました。

各部の評価

	目標(課題)	取組と結果	次年度の課題・改善策
幼稚園部	やりとりを楽しむ視覚情報・掲示物の工夫	○全学級で目めくりに日々の活動を載せたり、廊下の掲示物の表示の仕方を工夫したりするなど、やりとりを楽しめるように廊下の掲示や教室掲示の工夫をした。ことば絵じてんの活用などもできた。 ○同じ経験をしておりイメージの共有がしやすいことから、アイコンタクトや指差しを含めて子ども同士が関わる姿が増えた。教員や保護者など大人とのコミュニケーション量も増えた。	・やりとりを楽しむ視覚情報や掲示物の工夫、ことば絵じてんの活用について、引き続き実践を続ける。 ・聴覚障害などに関する事柄やコミュニケーションの方法・支援について実践をしながら学び合い、教員の専門性の向上を図る。 ・教材の有効活用を図るために、教材の整理や情報共有を行う。
	保護者学習会の内容の充実	○学習会の内容に関して保護者から意見を貰った。希望の多かった先輩保護者の話や本人の体験談などの学習会を実施できた。他にも手話や言葉の育ちについての学習会など、複数回実施できた。	

	目標(課題)	取組と結果	次年度の課題・改善策
小学部	言語活動の充実とコミュニケーションの拡充	○教員が常に児童の言語力を高めることを意識し、相手を意識した伝え方、聞き方、さらに考える力を育てるために話し合い活動を取り入れた。友達の考えを知り、自己の考えを広げる対話的な学びを目指した授業作りに取り組んだ。 ○学習集団を確保し、話し合い活動の目的や流れをわかりやすく提示して、活動を繰り返した。そうすることで、友達と話し合って問題を解決することの面白さを知り、「自分の意見をしっかり伝えよう」「友達の意見とくらべて考えよう」という姿勢が児童に身に付いてきた。	・児童が主体的に話し合える場を設定し、児童が自分の考えを言語化し、自分の言葉で伝えられるようなコミュニケーション力を育てる。 ・教員が学び合いながら聴覚障害教育の専門性の向上を図る。 ・確実な情報交換を行ったり、日頃の教育活動について説明したりして保護者との連携を深める。
	社会性を身につけるための取組	○太田南小学校との交流及び共同学習や校外学習などの体験学習などにおいて、人との関わり方、公共交通機関や見学施設等でのマナー学習に取り組んだ。また、小学部段階で身につけておきたい社会性を念頭に置いて日々の教育活動にも取り組んだ。	

	目標(課題)	取組と結果	次年度の課題・改善策
中学部	生活力・学力の向上	○生徒の実態を把握するため、職員全員で生徒一人一人の目標と課題を出し合い、自立活動や生活面での指導につなげた。 ○生徒自身がタブレット端末を使って、文章を入力したり、わからない言葉を調べたり、計算問題に取り組んだりする機会を増やすことで、生徒たちの理解力、操作力を高めることができた。	・ICT機器を導入することによる業務の効率化、行事の事前事後学習の見直しを行い、生徒への学習指導を充実させる。 ・言語力（日本語、手話）の向上をめざし、職員全員で共通意識をもって指導に当たる。 ・体験的な学習を通して、自分の課題を理解し、改善していくことで、主体的に考え行動する力をつける。
	コミュニケーション能力の向上	○1分間スピーチを毎月実施し、スモールステップで表現や発表の仕方を磨き、語彙力、表現力が身に付いた。 ○四国内の聾学校とのリモート交流（毎学期）では、同年代の生徒同士でテーマに沿った自由な会話が生まれ、会話力の向上を図ることができた。	
	生きる力・自立の力の育成	○2日間の職場体験学習により、自分の目標をしっかりとって主体的に取り組むことができた。 ○近隣の特別支援学校や中学校との交流学习を実施する中で、自分の障害について理解してもらい、集団の中でコミュニケーションをとる力や周りを見て行動する力などに成長が見られた。	

	目標(課題)	取組と結果	次年度の課題・改善策
高等部	社会で活かせるコミュニケーションの力を高める取組	○生徒一人一人のコミュニケーション面での課題と目標について共通理解した上で、指導に当たってきた。また、各教科や学校生活場面で生徒のコミュニケーション力を高める取組を工夫したり、自分の聞こえや配慮してほしい事柄を「トリセツ」にまとめ、機会があるたびに説明したりする学習を進めた。 ○徐々に、自己理解が進み、自分の気持ちや要望を伝える手段を獲得し、活発に意見交換ができるようになってきている。	・卒業後に望ましい対人関係を構築できるように、社会で活かせるコミュニケーションの力を高める取組を継続する。交流学习、校外学習などを積極的に取り入れ、相手に伝わるコミュニケーションの練習を行うとともに、「トリセツ」を使って支援を依頼する力を養う。さらに、校内での活動においても生徒同士の積極的な話し合い活動ができる場を設け、相手の気持ちを考えたコミュニケーション力を高めることができるようにする。 ・一人一人が主役になれるような生徒会活動や、校外での活動を積極的に取り入れる。また、部活動以外の放課後活動について提案をする。
	校内外での自主的な活動の推進	○校外でのボランティア活動や総文祭の美術・工芸部門の生徒実行委員を担うなど、校外での自主的な活動に積極的に取り組む生徒が増えてきた。また、校内においても、自主的に企画を考えて七夕やクリスマスを盛り上げ、充実感をもつことができています。また、ビジネス文書検定や読字力検定、漢字検定などの受検者数も増えている。	



学校評議員会・学校関係者評価委員会から

令和6年2月20日（火）に第2回学校評議員会が開催されました。
学校関係者評価委員会も兼ねており、学校評議員4名とPTAより3名
にご参加をいただきました。



〔各評議員等の方々のご意見やご感想の一部を抜粋してお知らせします。〕

【本校の教育について】

- 中国四国地区聾教育研究大会で得た気づきを、今後最大限生かしてほしい。「日本語と手話を教える学校」をPRしていくとよいと思う。
- 来年度、「日本語と手話の向上を目指す」とあるので、子どもが言葉をたくさん獲得できるよう頑張ってもらいたい。
- 幼稚部で当事者の体験を話されているということだったが、ぜひ続けてほしい。私が訪問で伺う子どもの保護者は将来について悩んでいる。当事者の困った話を聞いて学びたいという保護者が多い。私自身もぜひ参加させていただきたい。
- 高等部卒業後の進路については生徒としては悩みが多い。私が聾学校にいた時も情報が少なくて、卒業後どこに行くのがよいのか心配だった。卒業後を心配する保護者は多いのではないかなと思う。卒業した後の大学や職業の情報を掲示できる工夫があればよいかなと思う。

【防災について】

- 地域で防災活動をしているが、要支援者にどう寄り添うかが非常に難しい。聴覚障害者のために手話ができるとよいのではないかなと考えるが、何から取りかかればよいかな悩んでいる。
→要支援者のニーズを把握し、どのようなコミュニケーションが必要かを考えるとよい。筆談でも構わないと思う。

【学校評価について】

- 評価項目を変えず、経年でみることも大切であるが、学校の質を高めるために難しいことをあえて評価項目に入れ、チャレンジすることも大切である。
- 保護者の中には、「学校からの情報が少ない」と話す方もいる。学校評価の回答での「？」にはそういった理由もあるのではないかな。
→PTAの掲示板はあるが、情報の提示の仕方を工夫していきたい。また、評価項目の質問の仕方についても再検討したい。
- 今までは、評価をつけるだけであったが、この会に参加しどのように評価が検討されるのかがよく分かった。

この他にも、貴重なご意見を多数いただきました。学校で改善する必要があるものについては、すでに検討を始めているものもあります。今後も、学校評議員会にてご意見を拝聴し、検討および改善を進めてまいります。

令和5年度学校評価表(幼稚部自己評価)～集計表～

〈教員による評価〉

香川県立聴覚支援学校

- 評価基準 A:十分に達成している。全く問題はない。
 B:ほぼ達成している。特に問題はない。
 C:あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。
 D:達成していない。改善・工夫が必要である。

回収率 100%

I 幼稚部における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 様々な体験や人との関わりを通して、学校生活や遊びを楽しむ、自分の力で頑張ろうとする子どもを育む。(部全体)	1	2	0	0	100%
② 一人一人に応じたコミュニケーションの基礎の力を養い、伝え合うことを楽しむ子どもを育む。(部全体)	5	3	0	0	100%
③ 基本的な生活習慣を養い、健康で明るく生き生きとした子どもを育む。(部全体)	3	5	0	0	100%
II 課題取組に関する目標	A	B	C	D	B以上
① やりとりを楽しむような関わり(子どもの気持ちの理解・受け止め・共感)をする。(各個人)	1	6	1	0	88%
② 子どもが興味をもち、やりとりのきっかけとなるような掲示物や視覚情報を意識した教材の工夫をする。(各個人)	3	4	1	0	88%
③ 個々の実態に応じたコミュニケーションの支援を行う。(各個人)	4	3	1	0	88%
④ 保護者の意見なども取り入れ、保護者学習会を実施したり、保護者同士の交流会を行ったりする。(部全体)	3	5	0	0	100%
III 学習指導(自立)における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 子どもの聞こえ等に配慮するとともに、言語力の向上に努める。(各個人)	1	6	1	0	88%
IV 交流及び連携に関する目標	A	B	C	D	B以上
① 学校間交流や居住地校交流では、交流先と連携し、同年代の幼児と触れ合う楽しさを味わえるようにする。(部全体)	5	2	0	0	100%
② 家庭や関係機関との連携を丁寧に行い、子どもや保護者への支援に役立てる。	3	5	0	0	100%
V 管理、運営面における目標	A	B	C	D	B以上
① 職員間の情報伝達(報告・連絡・相談等)を円滑に行う。(各個人)	6	2	0	0	100%
② 集金処理や会計処理を適切に行う。(各個人)	6	2	0	0	100%

令和5年度学校評価表（幼稚部 保護者アンケート）～集計表～

〈保護者による 学校教育活動についての評価〉

香川県立聴覚支援学校

○ 評価基準 A:十分にできている

B:ほぼできている

C:あまりできていない

D:できていない

?:わからない(学習会等に関しては、参加できていないため分からないも

回収率 100%

I 学習活動について	A	B	C	D	?	B以上
① お子様は、先生や友達と一緒に、楽しく学校生活を送ることができましたか。	3	4	0	0	0	100%
② 日々の保育内容や行事は、お子様の興味、関心に合っていましたか。	4	3	0	0	0	100%
③ お子様は、この1年間で、できることが増えていますか。	6	1	0	0	0	100%
④ 教員は、聞こえや発音、お子様に応じたコミュニケーション手段（音声、手話、指文字、身振りサインなど）に関して、配慮していましたか。	7	0	0	0	0	100%
⑤ 懇談や連絡帳などによって、学校でのお子様の様子が適宜伝えられていましたか。	5	2	0	0	0	100%

II その他	A	B	C	D	?	B以上
① お子様に関する相談に適切に応じることができていましたか。	3	4	0	0	0	100%
② 学習会や研修会等で、必要な情報を得ることができましたか。	1	3	2	0	1	57%

令和5年度学校評価表(小学部自己評価) ～集計表～

〈教員による評価〉

香川県立聴覚支援学校

- 評価基準 A:十分に達成している。全く問題はない。
 B:ほぼ達成している。特に問題はない。
 C:あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。
 D:達成していない。改善・工夫が必要である。

回収率 100%

I 小学部における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 一人一人の実態を把握して障害の特性に応じた指導上の配慮を行い、学力や社会へ出るために必要な基本的な力の向上を図る。(各個人)	0	9	0	0	100%
② 学校生活全般を通して言語活動の場を設定し、コミュニケーションの拡充を図る。(部全体)	2	6	1	0	89%
③ 望ましい生活習慣の形成を通して、健康や安全に関心をもとうとする態度を育成する。(部全体)	2	7	0	0	100%
II 教育課程における目標	A	B	C	D	B以上
① 担当した教科等の指導を、個別の指導計画にそってすすめる。(各個人)	2	7	0	0	100%
III 学習指導における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 授業の始まりと終わりの時刻を守る。(各個人)	2	6	1	0	89%
② 教科指導や自立活動、特別活動等の指導を通し、自ら考え動く力を育む。(部全体)	1	8	0	0	100%
IV 生徒指導における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 生徒・学級担任・保護者間での情報共有を図るため、連絡帳の活用・情報の発信・三者間のやりとりを行う。(各個人)	2	7	0	0	100%
V 進路指導における目標	A	B	C	D	B以上
① 「キャリア教育」を意識し、将来を見据えた教育活動を実施する。(部全体)	1	8	0	0	100%
VI 管理、運営面における目標	A	B	C	D	B以上
① 各担当区域の環境整備(設備、防災、衛生、安全面)を適切に行う。(各個人)	3	6	0	0	100%
② 各部内での職員間の情報伝達(報告・連絡・相談等)を円滑に行う。(各個人)	3	6	0	0	100%
③ 所属部以外の部へ必要な情報伝達を行う。(各個人)	3	6	0	0	100%
④ 各係として、保護者からの集金処理や業者との会計処理を適切に行う。(各個人)	4	3	1	0	88%

令和5年度学校評価表（小学部 保護者アンケート）～集計表～

〈保護者による 学校教育活動についての評価〉

香川県立聴覚支援学校

- 評価基準 A:十分にできている
 B:ほぼできている
 C:あまりできていない
 D:できていない
 ? :わからない

回収率 100%

I 学習指導について	A	B	C	D	?	B以上
① お子様の各学期の目標（生活面・学習面）は、達成できましたか。	3	2	0	0	1	83%
② 教員はお子様の聞こえに配慮し、手指メディア（手話、指文字等）、ICT機器・教材（タブレット端末、パソコン等）、絵カードなどの視覚的な方法を活用した指導ができていましたか。	5	1	0	0	0	100%
③ 学級懇談会や連絡帳、学級通信等によって、学校でのお子様の状況が適切に伝えられていましたか。	5	1	0	0	0	100%
④ 教員は、通知表等において、お子様の能力や努力を適切に評価できていましたか。	5	1	0	0	0	100%
⑤ 教員は、日々の家庭での宿題・課題等を適切に提供して指導できていましたか。	5	1	0	0	0	100%

II その他	A	B	C	D	?	B以上
① 教員から、お子様の悩みや学習面、生活面での困難さ等について、適切なアドバイスがなされてきましたか。	5	0	1	0	0	83%
② 教員から進級や進学について、情報提供や相談が適切におこなわれていますか。	4	1	0	1	0	83%

令和5年度学校評価表(中学部自己評価) ～集計表～

〈教員による評価〉

香川県立聴覚支援学校

- 評価基準 A:十分に達成している。全く問題はない。
 B:ほぼ達成している。特に問題はない。
 C:あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。
 D:達成していない。改善・工夫が必要である。

回収率 80%

I 中学部における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 一人一人の実態を把握し、障害の特性等に応じた指導上の配慮をより充実させ、生活力及び学力の向上を図る。(各個人)	0	7	1	0	88%
② 個々に応じた言語活動を通して、コミュニケーション能力を高め、人と関わる力を育てる。(部全体)	2	5	1	0	88%
③ 体験的な学習や交流及び共同学習を通して、主体的に考え、行動する力を育む。(部全体)	1	7	0	0	100%
II 教育課程における目標	A	B	C	D	B以上
① 担当教科等の指導を個別の指導計画に沿って行い、学力等の向上を図る。(各個人)	1	7	0	0	100%
III 学習指導における全体目標	A	B	C	D	B以上
① ICT機器等を活用して、生徒に分かりやすく、それぞれに合った指導方法を工夫改善する。(各個人)	0	7	1	0	88%
② 自立活動や総合的な学習の時間を有効に使い、コミュニケーション能力の向上を図る。(部全体)	2	6	0	0	100%
IV 生徒指導における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 生徒・学級担任・保護者間での情報共有を図るため、連絡帳の活用・情報の発信・三者間のやりとりを行う。(各個人)	1	4	1	1	71%
② 生徒自身が障害を正しく理解し、肯定的に捉えられるよう、意識して取り組む。(部全体)	1	5	2	0	75%
V 進路指導における目標	A	B	C	D	B以上
① 総合的な学習の時間や学級活動で「進路」を取り上げ、将来を見据えた学習を実施する。(部全体)	1	5	1	0	86%
VI 管理、運営面における目標	A	B	C	D	B以上
① 各担当区域の環境整備(設備、防災、衛生、安全面)を適切に行う。(各個人)	1	7	0	0	100%
② 各部内での職員間の情報伝達(報告・連絡・相談等)を円滑に行う。(各個人)	1	6	1	0	88%
③ 所属部以外の部へ必要な情報伝達を行う。(各個人)	0	8	0	0	100%
④ 各係として、保護者からの集金処理や業者との会計処理を適切に行う。(各個人)	4	4	0	0	100%

令和6年1月

令和5年度授業評価(中学部生徒) ～集計表～

香川県立聴覚支援学校

- ・とてもできている、はいと思う場合は、「◎」と書いてください。
- ・ほぼできている、まあまあと思う場合は、「○」と書いてください。
- ・あまりできていないと思う場合は、「×」と書いてください。

回収率 100%

授業に関する項目	◎	○	×
① 授業は楽しく、安心して受けられる。	6	1	0
② 授業でわからないことについて先生に質問しやすい。	4	2	1
③ 先生は教え方をいろいろと工夫している。	3	4	0
④ 先生は生徒の意見や考え方をよく聞いてくれ、大切(たいせつ)にしてくれる。	4	3	0

自分自身に関する項目	◎	○	×
① 学習の準備や服装を整えて授業の始まりを待っている。	3	4	0
② 授業の内容を理解しようと努力している。	3	3	1
③ 授業中わからないところは質問している。	2	4	1
④ 他の人の発表をよく理解しようと努力している。	3	3	1
⑤ 宿題をきちんとしている。	3	4	0

令和5年度学校評価表（中学部 保護者アンケート）～集計表～

〈保護者による 学校教育活動についての評価〉

香川県立聴覚支援学校

- 評価基準 A:十分にできている
 B:ほぼできている
 C:あまりできていない
 D:できていない
 ? :わからない

回収率 100%

I 学習指導について	A	B	C	D	?	B以上
① お子様は、生活面学習面において目標を達成できましたか。	0	3	0	1	3	43%
② お子様は、個々に応じた言語活動の指導を通して、コミュニケーション面での成長が感じられましたか。	1	2	0	0	4	43%
③ お子様は、校外学習や交流学习、職場体験等の体験活動に意欲的に取り組むことができましたか。	1	3	1	0	2	57%
④ 教員は、お子様の実態に配慮して、手話や指文字、ICT機器等を用いたわかりやすい指導ができていますか。	2	2	0	0	3	57%
⑤ 教員は、通知表等でお子様の能力や努力を適正に評価していますか。	3	1	0	1	2	57%
⑥ 学級懇談会や連絡帳等によって学校と家庭との情報交換等を適宜行うことができていますか。	1	4	1	1	0	71%
⑦ お子様の進路について、情報提供や相談が適切に行われていますか。	0	4	0	1	2	57%

令和5年度学校評価表(高等部自己評価) ～集計表～

〈教員による評価〉

香川県立聴覚支援学校

- 評価基準 A:十分に達成している。全く問題はない。
 B:ほぼ達成している。特に問題はない。
 C:あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。
 D:達成していない。改善・工夫が必要である。

回収率 100%

Ⅰ 高等部における全体目標		A	B	C	D	B以上
①	一人一人に応じた学習内容を設定・展開し、現場実習等校外での活動を充実し、進路目標の実現を図る。(部全体)	6	5	1	0	92%
②	学校生活全般を通して活発なコミュニケーションの場を設け、卒業後の望ましい対人関係の構築を図ることができる姿勢を育成する。(部全体)	7	5	0	0	100%
③	部活動や各種検定試験による自主的な活動を重視し、生涯学習・スポーツにつながるような意欲・態度を育てる。(部全体)	6	6	0	0	100%
Ⅱ 学習指導における全体目標		A	B	C	D	B以上
①	担当教科等の指導を個別の指導計画に沿って行い、学力等の向上を図る。(各個人)	5	7	0	0	100%
②	個々の進路希望に応じた学力の向上とそれに対応した具体的な目標及び内容を設定し取り組ませる。(部全体)	5	7	0	0	100%
③	ICT機器等を活用した授業を推進し、生徒が分かる授業を目指したり、生徒へ活用を促したりする。(部全体)	5	7	0	0	100%
Ⅲ 生徒指導における全体目標		A	B	C	D	B以上
①	いじめ等が生じないよう、相手の立場に立ったコミュニケーションができるようになるなど、思いやりのある人間性を育成する。(部全体)	7	5	0	0	100%
②	学校のルールを守り、服装等を整え、規律正しい生活が送れるよう指導する。(部全体)	6	6	0	0	100%
Ⅳ 進路指導における目標		A	B	C	D	B以上
①	生徒一人一人の学習意欲を高め、個別の進路に対応する学力を身につけ、進路希望の実現を図る。(部全体)	6	5	1	0	92%
②	朝学や補習を効率よく実施し、個々の生徒の能力を伸ばすなど、確かな学力の向上を図る。(部全体)	5	6	1	0	92%

令和5年度授業評価(高等部生徒) まとめ～集計表～

香川県立聴覚支援学校

- ・とてもできている、はいと思う場合は、「◎」と書いてください。
- ・ほぼできている、まあまあと思う場合は、「○」と書いてください。
- ・あまりできていないと思う場合は、「×」と書いてください。

回収率 100%

授業に関する項目	◎	○	×
① 授業の進む速さはちょうどよい。	13	14	1
② 先生の話し方(手話、指文字等も含む)がはっきりして、言っていることがわかりやすい。	10	17	1
③ 先生は自分や友だちの意見や考え方をよく聴いてくれ、大切にしてくれている。	12	16	0
④ 板書は見やすく、わかりやすい。	11	14	1
⑤ 先生は目で見えてわかりやすい資料やビデオ、コンピュータ等をよく使ってくれる。	14	12	0
⑥ 先生がつけている成績(通知表)は納得できる。	12	4	0
⑦ 宿題の量や内容は自分の成績向上のためになっている。	5	12	0

自分自身に関する項目	◎	○	×
① 教材(服装等含む)を準備して授業の始まりを待っている。	10	15	1
② 私語などをせず、先生の説明を理解しようと努力している。	6	19	2
③ 授業中わからないところは質問している。	10	14	3
④ 他の人の発表を理解しようと努力している。	14	9	0
⑤ 予習・復習や宿題をきちんとしている。	2	13	0

アンケート対象教科 1組・・・体育・保健・美術・音楽・情報・家庭・専門(工業・家庭)
2組・・・保体・美術・音楽

令和5年度学校評価表（高等部 保護者アンケート）～集計表～

〈保護者による 学校教育活動についての評価〉

香川県立聴覚支援学校

- 評価基準
- A:十分にできている
- B:ほぼできている
- C:あまりできていない
- D:できていない
- ? :わからない

回収率 88%

I 学習指導について	A	B	C	D	?	B以上
① お子様はホームルーム等で立てた、各学期の目標を、達成しようとしていると思いますか。	0	5	0	0	2	71%
② 学校生活全般にわたって、個に応じた指導ができていると思いますか。	1	4	1	1	0	71%
③ 通知表等において、お子様の成果や努力が適正に評価されていましたか。	2	4	0	1	0	86%
④ コミュニケーション面での指導が行われ、対人関係面でお子様の成長が感じられましたか。	2	3	1	1	0	71%

II 部活動について	A	B	C	D	?	B以上
① お子様の目標に応じて、個の能力を十分に発揮できるよう指導されていると思いますか。	0	3	3	1	0	43%

III その他	A	B	C	D	?	B以上
① お子様の学校生活での悩みや相談等について、教職員が適切な対応をしていると思いますか。	1	3	1	1	1	57%
② お子様の進路について、情報提供や個に応じた指導が適切になされていると思いますか。	0	5	0	2	0	71%

令和5年度学校評価表（学校教育活動 保護者アンケート）～集計表～

〈保護者による 学校教育活動についての評価〉

香川県立聴覚支援学校

- 評価基準 A:十分にできている
 B:ほぼできている
 C:あまりできていない
 D:できていない
 ?:わからない

回収率 89%

I 人権・同和教育の取り組みについて	A	B	C	D	?	B以上
① 教職員は、教育活動全般においてお子様の人権に配慮した指導を行っていますか。	12	9	2	0	2	84%
② 毎学期発行の『響』から、人権・同和教育に関する情報を得られていますか。	8	12	1	1	3	80%

II 学校保健活動について	A	B	C	D	?	B以上
① けがや病気に対する救急処置や健康診断、健康相談、保健指導等の保健室の役割が十分なされていますか。	13	7	4	1	0	80%
② 給食は幼児児童生徒にとって適切なものになっていますか(セレクト給食、給食だより、給食週間等)。	15	8	0	0	2	92%
③ スクールカウンセラーに相談したい時に気軽に相談できそうですか(スクールカウンセラー通信の発行発行、掲示板を活用したスクールカウンセラー来校日のお知らせ等)。	8	11	2	2	2	76%

III ホームページについて	A	B	C	D	?	B以上
① 本校の取り組みを分かりやすく知らせる内容・構成になっていますか。	9	7	5	1	3	64%

令和5年度学校評価表(他分掌評価) ～集計表～

分掌名	評価項目	A	B	C	D	B以上[%]
教務部	諸表簿等の手引の見直しを進めるとともに理解推進を図る。	17	23	0	0	100%
研究部	中四聾研(香川大会)に向けて、計画的に部内研や報告会を実施し、各部で実践研究を進められるようにする。	24	17	0	0	100%
人権・同和教育部	保護者の人権意識の啓発や本校の取組についての理解促進を目的として、『響』(人権・同和教育だより)の内容を充実させる。	19	27	2	0	96%
生徒指導部	幼児児童生徒が安心して落ち着いた学校生活を送ることができるよう、各種安全教室(交通安全・携帯安全利用等)を効果的に実施する。 児童生徒が主体的に活動し自己有用感が育つよう、各部の実態に応じて学活や児童会生徒会活動を計画実施する。	16	28	1	0	98%
メディア教育	視聴覚機器やタブレット端末等を授業等で活用しやすいように、使用方法をまとめたマニュアルを作成し、研修会等で周知する。	20	25	1	0	98%
進路指導部	進路希望調査を基に、生徒それぞれの希望や実態に合った進路実現を目指す。そのために、予測される実習や進路先の新規開拓を進め、研修や講演・進路だより等で情報提供を行う。	19	26	1	0	98%
保健部	幼児児童生徒が元気な心と身体づくりをめざし、給食を通して食への関心を高めるために、引き続き基本的な感染症予防対策をしつつ、全員が安心安全に食べられる環境を整える。	23	19	2	0	95%
環境管理部	幼児児童生徒が安全安心な学校生活を送るために、全職員が発災時の避難経路や役割分担を考えて行動できるよう、各避難訓練を計画的に実施する。	19	24	2	1	93%
総務部	保護者と連携をはかりながら、本校のPTA活動目標と実情に合わせた活動を計画・実施する。	17	28	1	0	98%
きこえとことばの相談支援センター	職員会議等できこえとことばの相談支援センターの活動について報告を行い、センター的機能についての理解を進める。	26	20	1	0	98%
寮務部	(担任) 寄宿舎の活動や舎生の状況について、学校、家庭と連絡を密にとりながら、共通理解を図る。 (担任以外) 寄宿舎での活動や取り組みについて、情報を発信し理解推進を図る。	28	11	0	0	100%